

# 区民活動支援センター だより

**ぐるーばる\*あい**  
GLOBAL EYE

「ぐるーばる・あい」には、世界的な大きな視野を持って情報の発信をしようという思いが込められています。生涯学習・市民活動で活躍している人やこれから何かを始めようとする人を応援するための情報誌です。

神奈川県連合町内会自治会連絡協議会2020年度承認



神奈川県マスコットキャラクター「かめ太郎」

区民活動支援センターには、さまざまな分野の活動団体が登録されています。  
新型コロナウイルスの影響で思うように活動ができない状況が続きますが、今年度新規登録された団体もあります。  
その中からピックアップしてご紹介します！

**NEW**  
助っ人BANKにも登録！

## はなまといる

【どんなグループ？】

不登校や学校に行きづらい子どもをもつ親の集まりです。気持ちを共有する対話や、当事者ならではの情報交換を大切に、月1回の場を開催しています。地域の人向けに講演会も開催します。

【発足のきっかけ】

我が子の不登校に向き合ったとき、子どものためにも、まずは親自身が元気になれる場が必要でした。同じ思いをもつ親同士が出会い、2016年に場をつくりました。

【PR】

「まといる」は「円・居る」車座になる、団欒するという意味です。話す、放す、花…といった思いをこめています。初めての方も気軽にご参加ください。

詳しくは



**NEW**

## NPO法人 かながわ女性会議 横浜地区委員会

【どんなグループ？】

男女がともに、いきいきと生きられる「男女共同参画社会」の実現を目指して活動している団体です。

【発足のきっかけ】

平等で平和な活力ある社会の創造と、女性が共に力を合わせることを目標に、1982年に設立されました。

【PR】

県及び県内市町村と連携し、赤ちゃんからシニアまで充実した人生を過ごすための“人づくり・社会づくり”をあらゆる方向からアプローチすることをめざしています。



～開館時間～

月曜日から金曜日  
(土・日・祝日、年末年始は休館)  
午前8時45分から午後5時まで

～アクセス～

反町駅(東急) 徒歩約7分  
東神奈川駅(JR) 徒歩約7分  
京急東神奈川駅(京急) 徒歩約9分  
市バス「ニッ谷町」バス停 徒歩約3分

発行: 神奈川県区民活動支援センター  
〒221-0824  
横浜市神奈川区広台太田町3-8  
神奈川県総合庁舎本館5階 507窓口  
☎:045-411-7089 ☎:045-323-2502  
✉:kg-shiencenter@city.yokohama.jp  
担当: 山下・黄・山田・櫻井

【ぐるーばる・あいはVOICE神奈川さんにより音声録音されたCD版があります。CDの貸出をご希望の方は区民活動支援センターまで。また区民活動支援センターにて聞くこともできます。】

まだまだ  
あります！

# 新規登録団体・助っ人BANKの紹介



区民活動支援センターに新しく登録された方たちのご紹介です！

見学したい・体験したいなど興味のある方は、お気軽に区民活動支援センターまでお問合せください。

登録団体

助っ人BANK

ジャンル：楽器演奏

登録名：ギター弾き語り タートル7 (セブン)

内容：60～70年代のフォークソング  
歌謡曲・POPS等のギター弾き  
語りを練習しています。演奏会  
慰問などの活動もしています。

メッセージ：現在新規メンバー募集中



登録団体

ジャンル：福祉・社会活動

ヴォイス

登録名：VOICE神奈川

※デイジー  
内容：音声記録音メディアおよびDAISY  
図書の製作、対面朗読

※デジタル録音図書の国際標準規格で、普通の印刷  
物を読むことが困難な方々のために開発された音声記  
録音CD図書です。

メッセージ：音声訳による支援を行っています。  
(区内在住・在勤の視覚障害者)

助っ人BANK

ジャンル：楽器演奏

登録名：テリー・鼻笛

内容：鼻笛という楽器で素敵な音色を奏  
でます。老人ホーム・福祉施設など  
へ慰問、地域のお祭り等イベント  
にも出演いたします。

メッセージ：10年鼻笛吹いています！

助っ人BANK

ジャンル：国際・語学

ますだ のぶよ

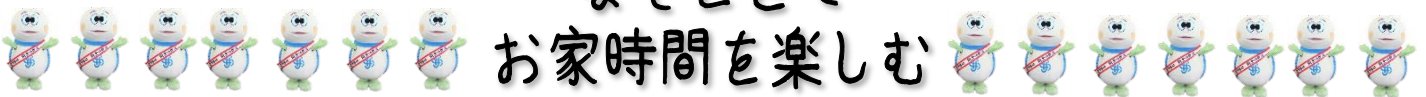
登録名：増田 修代 (英語)

内容：英語で日本の文化を語れるように  
指導します。

メッセージ：中学生レベルの英語力が  
身につけていけば大丈夫です。

## なぞときで

## お家時間を楽しむ



### Q おかしな手紙

なぞときが大好きなSさんから区民活動支援センターに届いたちよっとおかしな手紙・・・

さあ、手紙に隠された暗号を解き明かしてみてください！

センターのみんなへ

春になると、日も長くなり、菜の花も咲く。

待ち遠しいのはツツジが咲き緑濃くなる頃だ。

Sより



ヒント① 漢字→ひらがな ヒント② 8文字

新型コロナウイルスの影響下、市民活動の休止や縮小を余儀なくされています。そのようななか、工夫を凝らしながら地道に活動を続けている団体、国際交流のボランティアグループ「神奈川区国際交流の会（KANAK）」があります。

KANAKが発足したのは1995年、日本語教室をはじめ日本文化の紹介、料理教室、花見など各種イベントを行ってきました。いまやその活動は、地元神奈川区にはなくてはならない存在となっています。

コロナ禍でイベントの開催ができなくなった現在は、毎週月曜に、「日本語教室」を、神奈川区区民活動支援センターの交流室で開いています。日本語を学んでいる外国の方は、中国・ネパール・インドネシア・フィリピン・アメリカなど12か国・約25人に及びます。

## #新型コロナに負けない！



スマートフォンでオンライン学習

2020年4月に出された緊急事態宣言により公共施設の利用が難しくなりました。そこでKANAKは、5月からオンラインによる「日本語教室」を始めます。オンライン学習について、代表の杉山秀子さんは、「生徒の皆さんはスマートフォンやパソコンに長けていますから、何の問題もなくオンライン学習は進められています」と話してくれました。

交流室の利用は9月から再開されましたが、利用者の上限は16人。そのため、KANAKは、対面での「日本語教室」を3交代に分けて開き、また参加できない人のために引き続きオンライン授業も行っています。



blog

## コロナ禍のなかで活動を続ける 「神奈川区国際交流の会(KANAK)」

～「家族」のような国際交流を目指して～



取材させて頂いたのは11月30日に行われた3回目の授業で、杉山代表を含め4人の講師が7名の女性達に日本語を教えていました。教える人教わる人という立場を越えて、同じ目線から楽しく会話しているのが印象的でした。KANAKは、日本語学習の場というだけでなく、外国人達の悩みや日常生活での困りごとの相談にもものっています。「家族のような関係になっています」という杉山さんに、長きにわたって続けてこられた国際交流のあり方についてお伺いすることができました。（右記）

コロナ禍は、この国に住む様々な人々に影を落としています。外国人に寄り添うKANAKの活動は、草の根の国際交流を支えています。

日本語を勉強したいけれど、仕事をしながら月謝の高い学校には行けないという外国人のお役に立ちたい、日本を好きになって貰いたいと思ってKANAKを続けています。生徒さんにとっては、日本語教室にいらっしやるのが仲間とのコミュニケーションの場になっています。



日本語教室の様子

### 発足

1995年（現代表：杉山秀子）

### 活動

「日本語教室」や季節ごとのイベントを開催

### メールアドレス

ey3wr5@bma.biglobe.ne.jp

### ホームページ

<http://kanak.zashiki.com/>



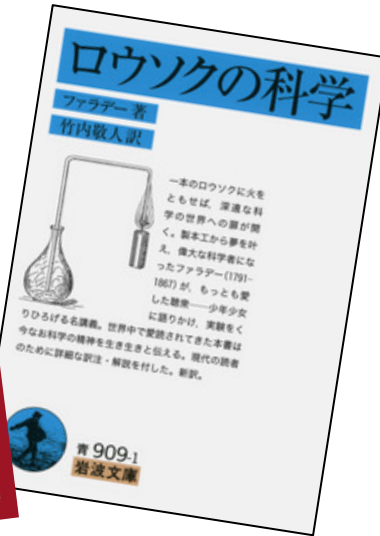
現代表の杉山さん

# 神奈川県読書活動推進講演会のお知らせ

「なぜ？」から始まる

# 思考力の育て方

「ロウソクの科学」を体験!



ノーベル化学賞受賞者吉野彰氏の少年時代の愛読書『ロウソクの科学』は、「なぜ? どうして?」から始まる科学の魅力が詰まった1冊。

その名著をわかりやすくした本『「ロウソクの科学」が教えてくれること』の編訳者・尾嶋好美さんによる、実験を交えた楽しい講演で、科学の扉をたたいてみませんか?

読書や科学に興味のあるお子さんの参加も歓迎です!

日時

# 中止となりました

申込方法 次のいずれかの方法で申込み

申込み締切 令和3年2月12日(必着)

参加可否は郵送で2月22日頃までにお知らせします。

(1)横浜市電子申請・届出サービスから申込み

「神奈川県 読書活動推進」で検索

又は右のスマートフォン用二次元コードから



(2)はがきかFAX (次の事項を明記して送付)

① 参加者全員の氏名 (1申込みにつき5名まで)

② 代表者の住所 ③ 代表者の電話番号

④ 手話通訳などの配慮事項 (必要な場合のみ)

\*宛先 〒221-0824 神奈川県広台太田町3-8

神奈川県役所地域振興課「読書講演会」担当

\*FAX送信先 045-323-2502

会場

神奈川県民文化センター

「かなっくホール」(東神奈川1-10-1)

定員

150名(多数抽選) ※保育無し  
入場無料

講師

筑波大学サイエンスコミュニケーター

## 尾嶋 好美博士

2008年から筑波大学にて科学に強い関心と興味のある小中高校生向け科学教育プログラムの運営を担当。これまで500名以上の生徒の自由研究を指導してきた。著書に『「ロウソクの科学」が教えてくれること』『理系力が身につく週末実験』『食べられる科学実験セレクション』等がある。



主催  
問合せ先

※こちらの  
窓口でも  
申込可能

・神奈川県図書館(神奈川県立町20-1)

・神奈川県役所地域振興課(本館5階506窓口)

TEL 045-434-4339 FAX 045-434-5168

TEL 045-411-7093 FAX 045-323-2502